

琉球大学学術リポジトリ

竹富島の植物相(附属演習林)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農学部 公開日: 2008-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 新里, 孝和, Shinzato, Takakazu メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/3955

竹 富 島 の 植 物 相

新 里 孝 和*

Takakazu SHINZATO : Flora of Taketomi-jima, the Yaeyama Islands

Summary

The vegetation and flora of Taketomi-jima (island) in the Ryukyus were investigated by the author in August 1984. The Island is located at 24°19'N. lat. and 124°05'E. long., about 4 km southwest of Ishigaki-jima. The Taketomi-jima is almost entirely composed of raised coral limestone and flat, and has a oval outline with an area of 541 ha. The annual average temperature, as estimated from its record on a nearby island Kohama-jima, and rainfall recorded on the Taketomi-jima for a period from 1941 to 1944 are 24.3°C and 2208.3 mm, respectively.

It was found that the vegetation on the Taketomi-jima was mostly converted to a secondary one being dominated by *Leucaena leucocephala*, although the natural vegetation remained in the yards of Utaki (the holy place of the Island) and on the coastal lines. *Ipomoea pes-caprae*-*Thuarea involuta* community, *Pandanus odoratissimus*-*Hibiscus tiliaceus* community, *Hernandia sonara* association, *Ficus microcarpa*-*Pisonia aculeata* community were found to be the natural vegetation.

The native and naturalized vascular plants were consisted of 196 species, 1 subspecies, 19 varieties, and 2 farms in total as shown in Table 1. In addition to the vascular plants of Table 1, the cultivated ones amounted to 145 species (a total of species, varieties, farms, cultivars) which were shown by italics in the list.

緒 言

竹富島は石垣島のほぼ南西約4kmの位置にある。島から5～16kmの範囲に、石垣島の他黒島、西表島、小浜島が位置する。島はほぼ南北に長い卵形を呈し、面積541ha、海岸線延長9.15km、島の中央部に海拔約20mの小丘をもつほかは低平な地形をなす¹⁶⁾。竹富島の植物は高嶺¹⁵⁾が八重山群島の植物の中で集録している。しかし八重山群島で広く分布する種については普産とし、島名が記載されていないため、竹富島産の植物を抽出するのは困難である。最近では竹富島の御嶽林^{6, 11)}や放牧草原⁴⁾の植生調査がある。これら既存の報告は竹富島の植物相をまとめ上げるに至っていない。また人口や土地利用形態など島の生活様式の変

* 琉球大学農学部附属演習林

遷に伴って、植物相も変化してきたと考えられる。筆者は1984年7月22日から約1か月間滞在し、島嶼生態系調査の一環として植物相の調査を行なった。聞き取った方言名を加えて島の植物相をまとめることにした。

植物相の概要

竹富島の表層地質は大部分が琉球石灰岩からなり、中央部と北側に所々珪岩質岩が露出し、東と西側海岸に浅海棲生物遺骸片からなる砂浜が帯状にのびる。したがって土壌も石灰母材に由来する土層の浅い暗赤色土壌が大部分を占め、微アルカリ性を呈する⁵⁾。山根ら⁴⁾によれば、放牧地の土壌はほぼ中性で、石灰の多い暗褐色土(島尻マージ)、軽埴土、硬度は深さによって20~24mmである。出現する植物や植生の分布も、このような地質土壌、地形に関係してくる。現在1群集5群落1植林地が認められているが¹⁰⁾、今回ハスノハギリ群集をそれに加えることにする。

グンバイヒルガオクロイワザサ群落は、砂の半安定帯にあり、グンバイヒルガオ、ジシバリ、ハイシバ、ツキイゲ、クロイワザサ、ハマゴウ、クサトベラなどがみられる。その内陸部にアダン-オオハマボウ群落を形成するが、この両種はほとんど混交することなく、単一種で小群状また帯状に広がり、時にイボタクサギ、クロイワザサなどがみられる。この群落は南側の石灰岩崖上にもみられ、ゲツキツ、ギンネム、サルカケミカン、テリハノブドウ、ヘクソカズラ、イボタクサギ、アカギモドキなどが出現する。ハスノハギリ群集はさらにその内陸部に発達する。この群集はハスノハギリの優占する林分で、ハスノハギリを標徴種に、テリハボク、アカギモドキを識別種とする海岸林である⁸⁾。北側のミサシ御嶽の林内にはハスノハギリ胸高直径1.49m、樹高7m、テリハボク根元直径2.10m、樹高8mのものがみられ、その他フクギ、アカテツ、ハテルマギリ、ヤンバルアカメガシワ、シマヤマヒハツ、ヤエヤマアオキ、ハマユウなどが出現する。これらの海岸林の内陸にリュウキュウガキーナガミボチョウジ群落、ガジュマル-クロヨナ群落、チガヤ-ススキ群落、畑地雑草群落、ギンネム林が分布する。

ガジュマル-クロヨナ群落、リュウキュウガキーナガミボチョウジ群落は、リュウキュウガキーナガミボチョウジ群団にまとめられ、ガジュマル-トゲカズラ群落⁸⁾に含まれると思われる。本群落は琉球石灰岩を基盤とした地域で、海岸林の内陸側に成立する。竹富島の内陸部のほぼ全土が本群落の潜在的な立地と考えられ、幸本、仲筋、久間原、波利若、波座間などの御嶽林内に、群団標徴種のリュウキュウガキ、コミノクロツグ、フクギ、ナガミボチョウジ、シマヤマヒハツ、オオバギ、グミモドキなど多数出現し、ガジュマル、トゲカズラ、クロヨナ、フクマンギ、オオシマコバンノキ、トウツルモドキ、クワズイモ、ホウビカンジュ、アリモリソウなどの識別種、林分構成種がみられる。チガヤ-ススキ群落は、チガヤが所々にみられるがほとんどがギンネム林に変わっている。ギンネムは昭和12年(1937年)に導入され、畑地の周囲に植えて、薪、飼料、緑肥に利用したといわれるが、農業が衰微し人口の減少につれて、利用されなくなったギンネムが放棄畑や屋敷跡に侵入し、現在では島の面積の1/2以上をギンネム林が占めているように見える。ギンネム林は構成種が極めて少なく、林内にはクワズイモ、オオシマコバンノキ、ゲツキツ、林冠にテリハノブドウ、オキナワズズメウリなどがみられる。南側の放牧地ではギンネム林の下層に、牛に採食されないゲツキツの頻度が高い。畑地雑草の一年生草本には、イヌビユ、エノキグサ、コセンダングサ、ベニバナボロギク、タツノツメガヤ、メヒシバ、イトアゼガヤ、ザラツキエノコロなどが出現する。栽培植物は、島が観光で生計を立てている人が多いせいか、デイゴ、オオゴチョウ、クロトン、ニトベカズラ、ブッソウゲ、アリアケカズラ、ココヤシ、ハナシュクシャ、ブーゲンビレアなど熱帯性の観用植物が多くみられる。

植物目録の作成

植物の大部分は採集し、標本にした。植物目録は今回筆者が採集したものと、実見して記録したもの

新里：竹富島の植物相

をもとに、新島⁶⁾と緑地研究会¹¹⁾の報告から筆者の未見のものを加えて作成した。天野¹⁾は竹富島のか
 なる方言名を記録しているが作物種が多く、また高嶺¹⁵⁾の報告から33年経過しており、その間消滅
 した種もあるかと考えられるので、これらについては追加しなかった。栽培植物は全て筆者の記録した
 ものである。標本の同定は、特に一部畑地および路傍草本について理学部宮城康一講師の御教示を得た。
 方言名は生育地での直接、および標本による聞き取りで、主に東屋敷の高那三郎氏（大正15年生、58才）
 と東里成幸氏（大正14年生、59才）に御指導いただいた。

本目録はシダ植物以上の陸上植物を記載し、配列、学名、帰化植物の区別は琉球植物目録³⁾によった。
 目録の中で、（新島）とあるのは新島義龍⁶⁾、（緑地）とあるのは緑地研究会¹¹⁾の御嶽林の植生調査
 によるものである。方言名で、*は天野¹⁾、**は上勢頭¹⁸⁾から引用したものである。帰化植物、栽培
 植物から逸出したと思われるものは和名のあとに（帰化）、（逸出）で示し、栽培植物はイタリックで
 表わした。

調 査 結 果

今回の調査で確認された自生植物の数は73科、153属、155種、1亜種、16変種、2品種である。こ
 れに帰化植物を加えると Table 1 に示すように、79科、182属、196種、1亜種、19変種、2品種で、
 種、亜種、変種、品種の合計が218となる。さらに栽培植物を含めると、103種、285属、363種（種、
 亜種、変種、品種、園芸種の合計）となる。

Table 1 The state of the native and naturalized vascular plants
 on Taketomi-jima

Taxa	Family	Genus	Species	Subspecies	Variety	Farm
Pteridophyta	6	7	7	0	0	0
Gymnospermae	2	2	2	0	0	0
Angyospermae						
Dicotyledoneae						
Archichlamydeae	38	82	90	1	6	1
Metachlamydeae	20	52	54	0	8	1
Monocotyledoneae	13	39	43	0	5	0
Total	79	182	196	1	19	2

竹富島は、島が大きく生物相の豊かな石垣島、西表島を控えながら、慶良間列島の久場島¹³⁾や屋嘉比
 島¹⁴⁾、海を遠く隔てた尖閣列島の魚釣島⁷⁾に比べて、植物数が少ない。シダ植物でみると、竹富島7、
 久場島20、屋嘉比島30、魚釣島57となっている。地形と地質の成因は互に関連しているかもしれないが、
 竹富島の植物相は地形と乾燥に大きく規制されているように考えられる。気象は、年降水量2208.3mm、
 年平均気温は小浜島を参考にすると24.3℃（いずれも1941～1944年統計）である⁴⁾。降水量は比較的
 多いように思われるが、土壌は層が浅く、非常に乾燥し易い。生活にも渇水に関係していることが多い
 ように思われる¹⁸⁾。竹富島とこれらの島とのシダ植物数の違いは主に湿った立地に生える種の差による
 ようである。竹富島のシダ植物では、やや湿ったミーナ井戸にオオイワヒトデがみられるだけである。
 上記の3島は竹富島より地形が複雑で、湿潤地が多いと考えられる。竹富島と立地条件が比較的同じよう
 な鳩間島¹²⁾は、シダ植物や他の植物相がほぼ類似している。

逆に低地の乾燥しやすい草原や人為的干渉度の高いことによって出現する植物が、竹富島では多くなっている。このことに関してキク科とイネ科の種数をみても、キク科は久場島7, 屋嘉比島10, 魚釣島14に対し竹富島19, 鳩間島26となり, イネ科は久場島24, 屋嘉比島22, 魚釣島21に対し竹富島29, 鳩間島34となり, 竹富島と鳩間島が他の3島より多くなっている。またこれら2科の植物は, Fig. 1からわかるように帰化植物が多い。帰化率(%)について(竹富島の他の帰化率は筆者が既存の報告書から算定した), キク科は久場島0, 屋嘉比島10.0, 魚釣島7.1, 竹富島47.4, 鳩間島30.8, イネ科は久場島4.2, 屋嘉比島0, 魚釣島0, 竹富島31.0, 鳩間島17.6となり, 竹富島と鳩間島で植生への人為的干

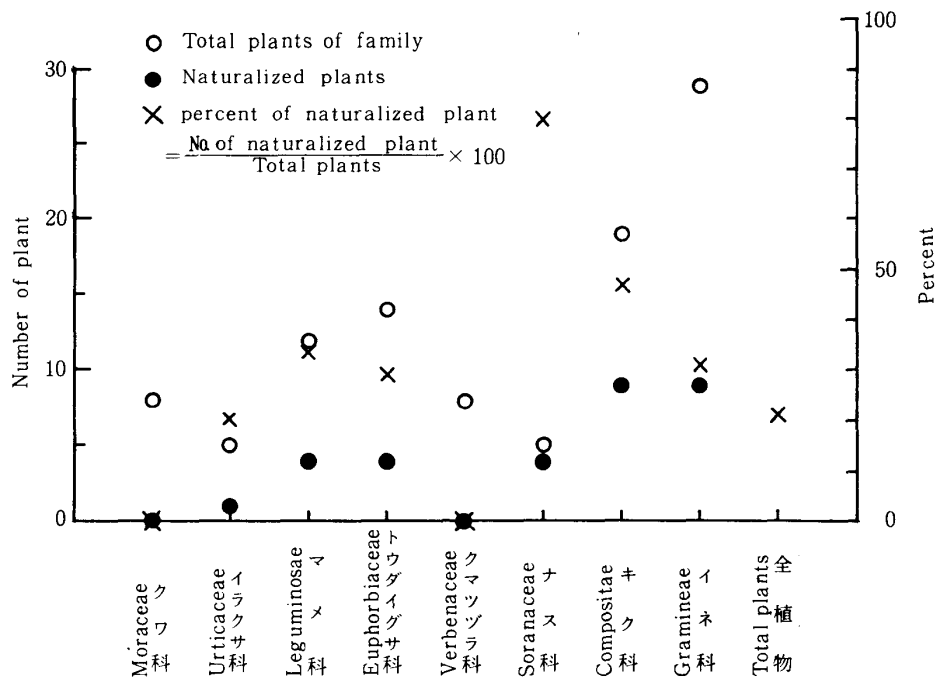


Fig. 1 The number of total and naturalized plants, and percent of naturalized plant of eight families

渉度が高く, 本来の植生が破壊されていることがわかる⁹⁾。竹富島とほぼ同じような立地条件下にある波照間島¹⁷⁾の帰化率がキク科31.3, イネ科13.8, 粟国島²⁾がキク科32.6, イネ科14.3となり, いずれも高くなっている。竹富島は Fig. 1 から, これら2科の植物の他に, マメ科, トウダイグサ科, ナス科などの帰化率も高く, 全植物数についても20.5で, 魚釣島1.0より明らかに高い値を示している。

このように竹富島の現植物相は, 地理的条件の他に, 低平な地形と地質などからくる, 乾燥と人為的干渉が大きく影響していると考えられる。

竹富島で滞在調査ができたのは, とくに島出身で現在石垣島に住んでおられる田真米三先生の御厚意によるものである。ここに記して深く感謝申し上げる。標本の同定に御教示いただいた琉球大学理学部・宮城康一講師, 現地調査に御協力いただいた高那三郎氏, 東里成幸氏, その他温かくお付き合い下さった島の人達, 島のことについて御教示いただいた琉球大学農学部・山盛 直教授に厚く御礼申し上げます。

新里：竹富島の植物相

竹 富 島 植 物 目 録

A list of vascular plants from Taketomi-jima, Yaeyama Islands
by Takakazu SHINZATO

	Pteridophyta	シダ植物
	Schizaeaceae	カニクサ科
Lygodium japonicum Sw.		カニクサ
	Pteridaceae	ワラビ科
Pteris ryukyuensis Tagawa		リュウキュウイノモトソウ
	Davalliaceae	シノブ科
<i>Nephrolepis auriculata</i> Trimen		タマシダ
<i>Nephrolepis biserrata</i> Schott		ホウビカンジュ
	Aspidiaceae	オシダ科
<i>Thelypteris acuminata</i> Morton		ホシダ
[ワラビ]		
	Aspleniaceae	チャセンシダ科
<i>Asplenium australasicum</i> Hook.		ミナミタニワタリ
[スンスキ, スルムシル*, フスンスフキ*]		
	Polypodiaceae	ウラボシ科
<i>Colysis pothifolia</i> Ching		オオイワヒトデ
<i>Microsorium scolopendria</i> Copel.		オキナワウラボシ
	Spermatophyta	種子植物
	Gymnospermae	裸子植物
	Cycadaceae	ソテツ科
<i>Cycas revoluta</i> Thunb.		ソテツ
[シーチ, シイヂイチイ* シイチ* **]		
	Podocarpaceae	マキ科
<i>Podocarpus macrophyllus</i> D. Don		イヌマキ (逸出)
[キャンギ, キャーンギ*]		
	Araucariaceae	ナンヨウスギ科
<i>Araucaria heterophylla</i> Franco		コバノナンヨウスギ
	Pinaceae	マツ科
<i>Pinus luchuensis</i> Mayr		リュウキュウマツ
[マチイ* マツ* **]		
	Cupressaceae	ヒノキ科
<i>Juniperus chinensis</i> L. cv. <i>Kaizuka</i>		カイヅカイブキ
<i>Juniperus taxifolia</i> Hook. & Arn. var. <i>lutchuensis</i> Satake		オキナワハイネズ
	Angiospermae	被子植物
	Dicotyledoneae	双子葉植物
	Archichlamydeae	古生花被区
	Casuarinaceae	モクマオウ科
<i>Casuarina equisetifolia</i> J. R. & G. Forst.		トキワギョリュウ

<i>Casuarina glauca</i> Sieber	グラウカモクマオウ
Piperaceae コショウ科	
<i>Piper kadzura</i> Ohwi	フウトウカズラ
<i>Piper retrofractum</i> Vahl 〔ピヤーシ* **〕	ヒハツモドキ (逸出)
Moraceae クワ科	
<i>Broussonetia papyrifera</i> Vent. 〔ヒィポォジ, フフォージ* カビンギー*〕	カジノキ
<i>Ficus elastica</i> Roxb.	インドゴムノキ
<i>Ficus erecta</i> Thunb. 〔イタビ〕	イヌビワ
<i>Ficus microcarpa</i> L. f. 〔ガジョーネー, ガジョーニ, ガジツプニ* ガゾネ*〕	ガジュマル
<i>Ficus pumila</i> L. 〔ガンコン, ガンコンカジラ* **〕	オオイタビ
<i>Ficus septica</i> Burm. f. 〔シュコォブイ〕	オオバイヌビワ
<i>Ficus superba</i> Miq. var. <i>japonica</i> Miq. 〔ハブーキ* **〕	アコウ
<i>Ficus virgata</i> Reinw. 〔ズウヤー, ズウーヤー〕	ハマイヌビワ
<i>Morus australis</i> Poir. 〔カーギィ, クッ, バナン*; 実はナンチ〕	シマグワ
Urticaceae イラクサ科	
<i>Boehmeria nivea</i> Gaudich. var. <i>concolor</i> Mak. 〔ブーヌファ, ブーヌパァ, ブー*〕	アオカラムシ
f. <i>viridula</i> Hatusima	ノカラムシ
〔ブーヌファ, ブーヌパァ, ブー*〕	
var. <i>candicans</i> Wedd.	ラミー
〔ブー〕	
<i>Pilea microphylla</i> Liebm.	コゴメミズ (帰化)
<i>Pipturus arborescens</i> C. B. Robin. 〔マンダァラギィ〕	オオイワガネ
<i>Pouzolzia zeylanica</i> Benn.	ヤンバルツルマオ
Balanophoraceae ツチトリモチ科	
<i>Balanophora fungosa</i> Forst.	リュウキュウツチトリモチ (新島)
<i>Balanophora tobiracola</i> Mak.	キイレツチトリモチ (緑地)
Aristolochiaceae ウマノスズクサ科	
<i>Aristolochia liukiuensis</i> Hatusima	リュウキュウウマノスズクサ
Polygonaceae タデ科	
<i>Antigonon leptopus</i> Hook. & Arn.	ニトベカズラ
<i>Polygonum chinense</i> L. 〔シミガジラ, シミ* シメー*〕	ツルソバ

新里：竹富島の植物相

Rumex japonicus Houtt.		ギシギシ
	Chenopodiaceae	アカザ科
Chenopodium virgatum Thunb.		カワラアカザ
	Amaranthaceae	ヒユ科
Achyranthes aspera L. var. rubrofusca Hook. f.		ムラサキイノコヅチ
<i>Alternanthera versicolor</i> Regel		モヨウビユ
Amaranthus lividus L.		イヌビユ (帰化)
〔シュビナー〕		
Amaranthus spinosus L.		ハリビユ (帰化)
〔アカビナー〕		
<i>Amaranthus tricolor</i> L.		ヒユ
Celosia argentea L.		ノゲイトウ (帰化)
<i>Celosia cristata</i> L.		ケイトウ
	Aizoaceae	ザクロソウ科
Sesuvium portulacastrum L.		ミルスベリヒユ
〔ハマミジナー〕		
Tetragonia tetragonioides O. K.		ツルナ
	Portulacaceae	スベリヒユ科
Portulaca oleracea L.		スベリヒユ
〔ミジナー, ミジナ*〕		
Portulaca pilosa L.		ケツメクサ (逸出)
	Basellaceae	ツルムラサキ科
<i>Basella alba</i> L.		ツルムラサキ
	Nyctaginaceae	オシロイバナ科
Boerhavia diffusa L.		ナハカノコソウ
〔ムチャラ〕		
<i>Bougainvillea glabra</i> Chois.		ブーゲンビレア
<i>Bougainvillea spectabilis</i> Willd.		イカダカズラ
<i>Mirabilis jalapa</i> L.		オシロイバナ
Pisonia aculeata L.		トゲカズラ
Pisonia umbellifera Seem.		オオクサボク
	Ranunculaceae	キンボウゲ科
Clematis grata Wall. var. ryukyuensis Tamura		リュウキュウボタンヅル
〔タンニカジラ, カンニカジラ*〕		
	Menispermaceae	ツツラフジ科
Cocculus laurifolius DC.		コウシュウウヤク
Cyclea insularis Hatusima		ミヤコジマツツラフジ
	Annonaceae	バンレイシ科
<i>Annona squamosa</i> L.		バンレイシ
	Lauraceae	クスノキ科
Cassytha filiformis L.		スナヅル
〔クンガニフサ〕		
Persea thunbergii Kosterm.		タブノキ

〔タブ, アカタブ〕		
	Hernandiaceae	ハスノハギリ科
<i>Hernandia nymphaeaefolia</i> Kubitzki		ハスノハギリ
	Capparidaceae	フウチョウソウ科
<i>Cleome viscosa</i> L.		ヒメフウチョウソウ (帰化)
	Crassulaceae	ベンケイソウ科
<i>Kalanchoe pinnata</i> Pers.		セイロンベンケイ (帰化)
〔ウランダフサ, ウランダシィサー* トーシィサーマ*〕		
<i>Kalanchoe verticillata</i> Elliot		ギンチョウ (逸出)
	Pittosporaceae	トベラ科
<i>Pittosporum tobira</i> Dryand ex Ait.		トベラ
	Hamamelidaceae	マンサク科
<i>Liquidambar formosana</i> Hance		フウ
	Rosaceae	バラ科
<i>Prunus campanulata</i> Maxim.		カンヒザクラ
<i>Prunus persica</i> Batsch		モモ
〔トームヌ* ムン**〕		
<i>Pyracantha</i> spp.		
<i>Rhaphiolepis indica</i> Lindl. ssp. <i>umbellata</i> Hats.		シャリンバイ
〔トッチ, トッチキ* **〕		
<i>Rosa centifolia</i> L.		セイヨウバラ
<i>Rosa chinensis</i> Jacq.		コウシンバラ
<i>Rubus parvifolius</i> L.		ナワシロイチゴ
〔テューシ, テーシィ* テシー* **〕		
	Leguminosae	マメ科
<i>Acacia confusa</i> Merr.		ソウシジュ
<i>Albizia lebbek</i> Benth.		ビルマネム
<i>Bauhinia</i> spp.		
<i>Caesalpinia pulcherrima</i> Sw.		オオゴチョウ
<i>Calliandra inaequilatera</i> Rusby		オオベニゴウカン
<i>Canavalia lineata</i> DC.		ハマナタマメ
<i>Cassia alata</i> L.		ハネセンナ
<i>Cassia obtusifolia</i> L.		エビスグサ (逸出)
<i>Delonix regia</i> Raf.		ホウオウボク
<i>Derris elliptica</i> Benth.		デリス (逸出)
<i>Erythrina variegata</i> L. var. <i>orientalis</i> Merr.		デイゴ
〔ズーキー, ズグ* **〕		
<i>Galactia tashiroi</i> Maxim.		ハギカズラ
<i>Indigofera suffruticosa</i> Mill.		ナンバンコマツナギ (帰化)
〔キーアイ, タイワンアイ*〕		
<i>Lasiobema japonica</i> de Wit		ハカマカズラ
〔ボウズヌタマーカジラ〕		
<i>Leucaena leucocephala</i> de Wit		ギンネム (逸出)

新里：竹富島の植物相

[ニンビキナー]		
Lotus australis Andr.		シロバナミヤコグサ
Pongamia pinnata Pierre		クロヨナ
[フォーキ]		
Pueraria montana Merr.		タイワンクズ
Sophora tomentosa L.		イソフジ
Vigna marina Merr.		ハマササゲ
[ハマカジラ]		
	Geraniaceae	フウロソウ科
<i>Pelargonium hortorum</i> Bailey		テンジクアオイ
	Oxalidaceae	カタバミ科
<i>Oxalis corniculata</i> L.		カタバミ
[マーシュフサ]		
	Tropaeaceae	ノウゼンハレン科
<i>Tropaeolum majus</i> L.		ノウゼンハレン
	Rutaceae	ミカン科
<i>Citrus depressa</i> Hay.		ヒラミレモン
[フナブ*, フニフ* **]		
<i>Murraya paniculata</i> Jack.		ゲッキツ
[ギーゲーチ, ギゲーヂィ*]		
<i>Toddalia asiatica</i> Lamk.		サルカケミカン
[スラッシ]		
<i>Zanthoxylum beecheyanum</i> K. Koch.		ヒレザンショウ
[サンシュ* **]		
	Meliaceae	センダン科
<i>Melia azedarach</i> L.		センダン
[シンダン, シンダン*]		
	Euphorbiaceae	トウダイグサ科
<i>Acalypha australis</i> L.		エノキグサ
<i>Acalypha hispida</i> Burm. f.		ナガボアミガサノキ
<i>Acalypha wilkesiana</i> Muell.-Arg. cv. <i>Marginata</i>		ヘリトリアカリハ
cv. <i>Willincki</i>		マルバアカリハ
<i>Antidesma pentandrum</i> Merr.		シマヤマヒハツ
[ナァスウベェ]		
<i>Bischofia javanica</i> Bl.		アカギ
<i>Breynia officinalis</i> Hemsl.		オオシマコバンノキ
[ピーザヌマイカー]		
<i>Codiaeum variegatum</i> Bl.		クロトン
<i>Croton cascarilloides</i> Raeusch.		グミモドキ
<i>Drypetes karapinensis</i> Pax & Hoffm.		ツゲモドキ
<i>Euphorbia chamaesyce</i> L.		ハイニシキソウ (帰化)
[マーザヌパンフサ, ギカトーシ*]		
<i>Euphorbia chamissonis</i> Boiss.		ハマダイゲキ

Euphorbia heterophylla L. var. *cyathophora* Griseb. ショウジョウソウ (帰化)

[アカッサー]

Euphorbia hirta L. シマニシキソウ (帰化)

Euphorbia milii Ch. des Moulinus var. *splendens* Urechet & Leandri

ハナキリン

Euphorbia pulcherrima Willd.

ショウジョウボク

Jatropha podagrica Hook.

サンゴアブラギリ

Macaranga tanarius Muell.-Arg.

オオバギ

[タビキィ]

Mallotus japonicus Muell.-Arg.

アカメガシワ

[カサイ (仲筋), カサビ (東屋敷)]

Manihot esculenta Crantz

キャッサバ

Melanolepis multiglandulosa Reichb. f. & Zoll.

ヤンバルアカメガシワ

[ザーラキ]

Pedilanthus tithymaloides Poit. cv. *Variiegatus*

リュウホウボク

Phyllanthus urinaria L.

コミカンソウ

Ricinus communis L.

ヒマ (逸出)

[タンナサ]

Buxaceae ツゲ科

Buxus liukiensis Mak

オキナワツゲ

Anacardiaceae ウルシ科

Mangifera indica L.

マンゴー

Rhus succedanea L.

ハゼノキ

[ハチキ]

Aquifoliaceae モチノキ科

Ilex maximowicziana Loesn.

ナガバイヌツゲ

Ilex rotunda Thunb.

クロガネモチ

Celastraceae ニシキギ科

Euonymus japonicus Thunb.

マサキ

[イッサー]

Euonymus tanakae Maxim.

コクテンギ

[ダイヒキヤ]

Maytenus diversifolia Ding Hou

ハリツルマサキ

[マッコウ, シマキ*]

Sapindaceae ムクロジ科

Allophylus timorensis Bl.

アカギモドキ

Euphoria longan Steud.

リュウガン

Balsaminaceae ツリフネソウ科

Impatiens balsamina L.

ホウセンカ

[キンジャグ*]

Impatiens sultani Hook. f.

アフリカホウセンカ

Rhamnaceae クロウメモドキ科

Berchemia lineata DC.

ヒメクマヤナギ

新里：竹富島の植物相

<i>Colubrina asiatica</i> Brongn.	ヤエヤマハマナツメ
Vitaceae ブドウ科	
<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> Trautv. var. <i>hancei</i> Rehd.	テリハノブドウ
〔ピーカジラ, ツカカガ*, ピーカニフ*〕	
<i>Cayratia japonica</i> Gagnep	ヤブカラシ
<i>Tetrastigma formosanum</i> Gagnep	ミツバビンボウカツラ
<i>Vitis ficifolia</i> Bunge	エビヅル
〔カニフ〕	
<i>Vitis vinifera</i> L.	ブドウ
Tiliaceae シナノキ科	
<i>Corchorus aestuans</i> L.	トガリバツナソ (帰化)
〔ソマーフサ〕	
Malvaceae アオイ科	
<i>Abelmoschus esculentus</i> Moench	オクラ
<i>Abutilon indicum</i> Sweet	タカサゴイチビ
〔ジンンサァー〕	
<i>Hibiscus mutabilis</i> L. f. <i>versicolor</i> Mac.	スイフヨウ
<i>Hibiscus rosa-sinensis</i> L.	ブッソウゲ
〔グショーク*, グショークヌパナ***〕	
<i>Hibiscus schizopetalus</i> Hook. f.	フウリンブッソウゲ
<i>Hibiscus syriacus</i> L.	ムクゲ
<i>Hibiscus tiliaceus</i> L.	オオハマボウ
〔ユナ, ユナキー*, ユナー***〕	
<i>Malvastrum coromandelianum</i> Garcke	エノキアオイ (帰化)
<i>Malvabiscus arboreus</i> Cav. var. <i>penduliflorus</i> Schery	ダイリンヒメフヨウ
<i>Thespesia populnea</i> Soland.	サキシマハマボウ
Bombacaceae バンヤ科	
<i>Chorisia crispiflora</i> Kunth	ブラジルキワタ
Sterculiaceae アオギリ科	
<i>Heritiera littoralis</i> Dryand.	サキシマスオウノキ
Guttiferae オトギリソウ科	
<i>Calophyllum inophyllum</i> L.	テリハボク
〔ヤロー〕	
<i>Garcinia subelliptica</i> Merr.	フクギ
〔フンキ, フクンキー*, フンブトゥ***〕	
Bixaceae ベニノキ科	
<i>Bixa orellana</i> L.	ベニノキ
Violaceae スミレ科	
<i>Viola confusa</i> Champ.	タイワンコスミレ
Passifloraceae トケイソウ科	
<i>Passiflora caerulea</i> L.	トケイソウ

	Caricaceae	パパイヤ科	
<i>Carica papaya</i> L.			パパイヤ
[マンジュマイ * **]			
	Cactaceae	サボテン科	
<i>Hylocereus triangularis</i> Br. & Rose			サンカクチュウ
	Thymelaeaceae	ジンチョウゲ科	
<i>Wikstroemia retusa</i> A. Gray			アオガンピ
[カビンガー]			
	Lythraceae	ミソハギ科	
<i>Lagerstroemia indica</i> L.			サルスベリ
<i>Pemphis acidula</i> J. R. & Forst.			ミズガンピ
[ハマシタン]			
	Combretaceae	シクンシ科	
<i>Terminalia catappa</i> L.			モモタマナ
[クバデーサ **]			
	Myrtaceae	フトモモ科	
<i>Psidium guajava</i> L.			バンジロウ (帰化)
[トゥイシイ * **, トッシ *, トーッシュ *]			
	Araliaceae	ウコギ科	
<i>Polyscias fruticosa</i> Harms			タイワンモミジ
<i>Polyscias guifoylei</i> Bailey			アラリア
	Umbelliferae	セリ科	
<i>Peucedanum japonicum</i> Thunb.			ボタンボウフウ
[サブナ *, サブナ **]			
	Metachlamydeae	後生花被区	
	Ericaceae	ツツジ科	
<i>Rhododendron amanoi</i> Ohwi			サキシマツツジ
<i>Rhododendron simsii</i> Planch.			タイワンヤマツツジ
	Myrsinaceae	ヤブコウジ科	
<i>Ardisia sieboldii</i> Miq.			モクタチバナ
[アッチ]			
	Primulaceae	サクラソウ科	
<i>Lysimachia mauritiana</i> Lamk.			ハマボッサ
	Plumbaginaceae	イソマツ科	
<i>Limonium wrightii</i> O. K. f. <i>arbusculum</i> Hatusima			イソマツ
[ガラシヌパン]			
	Sapotaceae	アカテツ科	
<i>Planchonella ovovata</i> Pierre			アカテツ
[トゥヌキ *]			
	Ebenaceae	カキノキ科	
<i>Diospyros ferrea</i> Bakh.			リュウキュウコクタン
[クルキ *, キダキ * **]			
<i>Diospyros kaki</i> Thunb.			カキノキ

新里：竹富島の植物相

<i>Diospyros maritima</i> Bl. 〔ガーナ〕	リュウキュウガキ
Oleaceae モクセイ科	
<i>Fraxinus griffithii</i> C. B. Clarke	シマトネリコ (新島)
<i>Jasminum sinense</i> Hemsl. 〔マサシ〕	オキナワソケイ
<i>Olea europaea</i> L.	オリーブノキ
Apocynaceae キョウチクトウ科	
<i>Allamanda cathartica</i> L. var. <i>hendersonii</i> Raffill	アリアケカズラ
<i>Catharanthus roseus</i> G. Don	ニチニチソウ
<i>Cerbera manghas</i> L.	ミフクラギ
<i>Ervatamia divaricata</i> Burk.	サンユウカ
<i>Nerium oleander</i> L. var. <i>indicum</i> Degener & Greenweell	キョウチクトウ
<i>Plumeria acuminata</i> Ait.	インドソケイ
Asclepiadaceae ガガイモ科	
<i>Graphistemma liukuense</i> (Warb.) Hatusima, comb nov.	リュウキュウガシワ
〔ウシヌスヌカジラ〕	
<i>Marsdenia tinctoria</i> R. Br. var. <i>tomentosa</i> Masam.	ソメモノカヅラ (新島)
<i>Tylophora tanakae</i> Maxim.	ツルモウリンカ
Convolvulaceae ヒルガオ科	
<i>Ipomoea acuminata</i> Roem. & Schult. 〔ユーシュバイカジラ, タナーカジラ〕	ノアサガオ
<i>Ipomoea aquatica</i> Forskal	ヨウサイ
<i>Ipomoea batatas</i> L. 〔ン* **〕	サツマイモ
<i>Ipomoea gracilis</i> R. Br.	ソコベニヒルガオ
<i>Ipomoea pes-caprae</i> R. Br.	グンバイヒルガオ
<i>Ipomoea quamoclit</i> L.	ルコウソウ
<i>Ipomoea sinensis</i> Choisy 〔タナーカジラ〕	ネコアサガオ
<i>Merremia tuberosa</i> Rendle	バラアサガオ
Boraginaceae ムラサキ科	
<i>Carmona retusa</i> Masam. 〔ハテクワシナー, テテクツーシー*〕	フクマンギ
<i>Ehretia dicksonii</i> Hance 〔ムシャーギイ, キーナシイ〕	マルバチシャノキ
<i>Ehretia dichotoma</i> Bl.	リュウキュウチシャノキ
<i>Messerschmidia argentea</i> Johnst. 〔ハマシュイキ, シュイキ* **, マッシュイ*〕	モンパノキ

Verbenaceae クマツヅラ科

Callicarpa japonica Thunb. var. *luxurians* Rehd. オオムラサキシキブ

[ハニナー]

Clerodendron inerme Gaertn. イボタクサギ

Clerodendron japonicum Sweet ヒギリ

Clerodendron trichotomum Thunb. var. *esculentum* Mak.

ショウロウクサギ

[フサリキイ]

Lantana camara L. var. *aculeata* Moldenke ランタナ

Phyla nodiflora Greene イワダレソウ

Premna corymbosa Rottb. & Willd. var. *obtusifolia* Fletcher

タイワンウオクサギ

[ウキス]

Premna nauseosa Blanco ルゾンハマクサギ

[ウキス]

Verbena officinalis L. クマツヅラ

[アギチフサ]

Vitex rotundifolia L. f. ハマゴウ

Labiatae シソ科

Clerodendranthus spicatus C. Y. Wu クミスクチン

Leucas javanica Benth. ヤンバルクルマバナ

Perilla frutescens Britt. var. *acuta* Kudo シソ

Solanaceae ナス科

Capsicum frutescens L. シマトウガラシ (帰化)

[グシュ*, クース*]

Cestrum nocturnum L. ヤコウカ

Lycopersicon lycopersicum Karst. トマト

Physalis angulata L. センナリホウズキ (帰化)

[ンミクンコー]

Solanum alatum Moench. テリミノイヌホウズキ (帰化)

Solanum ciliatum Lamk. キンギンナスビ (帰化)

Solanum erianthum D. Don ヤンバルナスビ

[ヤーナシキ, ナーナスキ]

Solanum seafortianum Andr. フサナリツルナスビ

Scrophulariaceae ゴマノハグサ科

Russelia equisetiformis Schlecht. & Cham. ハナチョウジ

Bignoniaceae ノウゼンカズラ科

Tecoma stans Juss. キンレイジュ

Acanthaceae キツネノマゴ科

Codonacanthus pauciflorus Nees アリモリソウ

Odontonema strictum O. K. ベニツツバナ

Pachystachys coccinea Nees アカサンゴバナ

Thunbergia carnea Nichols. ベンガルヤハズカツラ

新里：竹富島の植物相

Plantaginaceae オオバコ科	
Plantago asiatica L. 〔オーダヌブサ〕	オオバコ
Rubiaceae アカネ科	
<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis f. <i>grandiflora</i> Mak.	クチナシ
<i>Guettarda speciosa</i> L.	ハテルマギリ
<i>Ixora chinensis</i> Lamk.	サンダンカ
<i>Morinda citrifolia</i> L. 〔ブリシキ**〕	ヤエヤマアオキ
<i>Paederia scandens</i> Merr.	ヘクソカズラ
<i>Psychotria manillensis</i> Bartl.	ナガミボチョウジ
Caprifoliaceae スイカズラ科	
<i>Sambucus chinensis</i> Lindl.	ソクズ
<i>Viburnum odoratissimum</i> Spr. var. <i>awabuki</i> K. Koch	サンゴジュ (新島)
Cucurbitaceae ウリ科	
<i>Benincasa hispida</i> Cogn. 〔シュブイ〕	トウガ
<i>Cucurbita moschata</i> Poir. cv. <i>Toonas</i>	サイキョウカボチャ
<i>Diplocyclos palmatus</i> C. Jeffrey 〔マジュウヌクンコォー〕	オキナワスズメウリ
<i>Monmordica charantia</i> L.	ナガレイシ
Goodeniaceae クサトベラ科	
<i>Scaevola taccada</i> Roxb. 〔シュイキ, スイキ*〕	クサトベラ
Compositae キク科	
<i>Ageratum conyzoides</i> L.	カッコアザミ (帰化)
<i>Artemisia princeps</i> Pamp. var. <i>orientalis</i> Hara 〔ブツウ〕	ヨモギ
<i>Aster subulatus</i> Michx.	ホウキギク (帰化)
<i>Bidens pilosa</i> L. 〔ムチーラ*〕	コセンダングサ (帰化)
var. <i>minor</i> Scherff. 〔クマームチャラ, ムチーラ*〕	シロバナセンダングサ (帰化)
<i>Chrysanthemum morifolium</i> Ramatuelle	キク
<i>Cirsium brevicaule</i> A. Gray var. <i>irumtiense</i> Kitam. 〔アザミ*〕	イリオモテアザミ
<i>Cosmos sulphureus</i> Cav.	キバナコスモス
<i>Crassocephalum crepidioides</i> S. Moore	ベニバナボロギク (帰化)
<i>Crossostephium chinense</i> Mak.	モクビャクコウ
<i>Eclipta prostrata</i> L.	タカサブロウ
<i>Emilia sonchifolia</i> A. DC.	ウスベニニガナ

Erigeron canadensis L. 〔イナボウフサ〕	ヒメムカシヨモギ (帰化)
Erigeron floridulus Sch.-Bip. <i>Helianthus annuus</i> L.	オオアレチノギク (帰化) ヒマワリ
Ixeris debilis A. Gray 〔ハマティノリヤー〕	ジシバリ
Lactuca indica L. 〔ティノリヤー, ティノウーリヤ* **, ティノーリヤ*〕	アキノノゲシ
Sigesbeckia orientalis L. 〔フーパムチャラ, クモーフサ*〕	ツクシメナモミ
Sonchus oleraceus L. 〔フクナナー, フクナナー* **, クサナナー*, フクナナー*〕	ハルノノゲシ (帰化)
Taraxacum officinale Weber 〔ヒクナナー〕	セイヨウタンポポ (帰化)
Vernonia cinerea Less.	ムラサキムカシヨモギ
Wedelia biflora DC. 〔ウシヌファンカジラ, ウシヌパンカジラ*〕	キダチハマグルマ
Youngia japonica DC.	オニタヒラコ

Monocotyledoneae 単子葉植物

Typhaceae ガマ科

Pandanus odoratissimus L. f. 〔アザキ, アザサーイ*, アダニ*〕	アダン
---	-----

Gramineae イネ科

<i>Bambusa dolichoclada</i> Hay.	チョウシチク
<i>Bambusa vulgaris</i> Schrad. 〔マーダイ〕	タイサンチク
Brachiaria mutica Stapf 〔ナダシ〕	パラグラス (帰化)
Cenchrus brownii Roem. & Schult.	クリノイガ (帰化)
Chloris gayana Kunth	アメリカヒゲシバ (帰化)
Cynodon dactylon Pers. 〔パイガンナ〕	ギョウギシバ
Dactyloctenium aegyptium Richter	タツノツメガヤ (帰化)
Digitaria ciliaris Koel. 〔ガンナ, パイガンナ, ガシナ*〕	メヒシバ
Digitaria insularis Ekman	ススキメヒシバ (帰化)
Digitaria radiosa Miq. 〔ガンナ〕	コメヒシバ
Echinochloa colona Link 〔ガンナ〕	ワセビエ
Eleusine indica Gaertn. 〔イバンムトゥ, イバン, イバングサ*, インバイ*〕	オヒシバ
Eragrostis multicaulis Steud.	ニワホコリ

新里：竹富島の植物相

〔ガンナ〕	
<i>Imperata cylindrica</i> Beauv. var. <i>major</i> C. E. Hubb.	チガヤ
〔ガァヤ〕	
<i>Ischaemum aristatum</i> L.	タイワンカモノハシ
〔アカガンナ〕	
<i>Ischaemum aureum</i> Hack.	ハナカモノハシ
<i>Leptochloa panicea</i> Ohwi	イトアゼガヤ
<i>Lepturus repens</i> R. Br.	ハイシバ
〔カヤ, パイガンナ〕	
<i>Miscanthus sinensis</i> Anders.	ススキ
〔ユシキ〕	
<i>Oplismenus compositus</i> Beauv.	エダウチチヂミザサ
<i>Panicum repens</i> L.	ハイキビ
〔ナダシ〕	
<i>Paspalum conjugatum</i> Berg.	オガサワラスズメノヒエ (帰化)
<i>Pennisetum purpureum</i> Schumach.	ナピアグラス
<i>Pleiblastus linearis</i> Nakai	リュウキュウチク (逸出)
<i>Setaria italica</i> Beauv.	アワ
〔アー* **〕	
<i>Setaria verticillata</i> Beauv.	ザラツキエノコロ (帰化)
〔アーヌプガンナ〕	
<i>Setaria viridis</i> Beauv. var. <i>pachystachys</i> Mak. & Nemoto	ハマエノコロ
〔アーヌプガンナ〕	
<i>Sorghum halepense</i> Pers.	セイバンモロコシ (帰化)
<i>Spinifex littoreus</i> Merr.	ツキイゲ
<i>Sporobolus fertilis</i> W. D. Clayton	ネズミノオ
<i>Sporobolus virginicus</i> Kunth	ソナレシバ
<i>Thuarea involuta</i> Roem. & Schult.	クロイワザサ
<i>Zoysia japonica</i> Steud.	シバ
<i>Zoysia tenuifolia</i> Willd.	コウライシバ
Cyperaceae カヤツリグサ科	
<i>Carex wahuensis</i> C. A. Meyer var. <i>robusta</i> Fr. & Sav.	ヒゲスゲ
<i>Cyperus alternifolius</i> L. var. <i>obtusangulus</i> T. Koyama	シュロガヤツリ
<i>Cyperus rotundus</i> L.	ハマスゲ
〔コウブシ〕	
<i>Fimbristylis cymosa</i> R. Br. var. <i>spathacea</i> T. Koyama	シオカゼテンツキ
Palmae ヤシ科	
<i>Areca cathecu</i> L.	ビンロウ

<i>Arenga tremula</i> Becc. 〔ンマーニ, ブガラ*, フガラ**〕	コミノクログ
<i>Chrysalidocarpus lutescens</i> H. Wendl.	ヤマドリヤシ
<i>Cocos nucifera</i> L.	ココヤシ
<i>Livistona chinensis</i> R. Br. var. <i>subglobosa</i> Becc. 〔クバ**〕	ビロウ
<i>Mascarena lagenicaulis</i> L. H. Bailey	トックリヤシ
<i>Mascarena verschaffeltii</i> L. H. Bailey	トックリヤシモドキ
<i>Phoenix roebelenii</i> O' Brien	シンノウヤシ
<i>Rhapis excelsa</i> Henry 〔シュルフク***〕	カンノンチク
<i>Roystonea regia</i> O. F. Cook.	ダイオウヤシ
<i>Satakentia liukiuensis</i> H. E. Moore	ヤエヤマヤシ
Araceae サトイモ科	
<i>Alocasia cucullata</i> G. Don	シマクワズイモ
<i>Alocasia odora</i> Spach 〔ブン*, ブンガシャ***〕	クワズイモ
<i>Colocasia esculentum</i> Schott	サトイモ
<i>Raphidophora aurea</i> Birdsey	オウゴンカズラ
<i>Raphidophora pinnata</i> Schott	ハブカズラ
Flagellariaceae トウヅルモドキ科	
<i>Flagellaria indica</i> L. 〔クーヅ, クーヅィ*〕	トウヅルモドキ
Commelinaceae ツユクサ科	
<i>Commelina auriculata</i> Bl.	ホウライツユクサ
<i>Commelina benghalensis</i> L. 〔ヒキュサ〕	マルバツユクサ (帰化)
<i>Commelina diffusa</i> Burm. f. 〔ヒキュサ〕	シマツユクサ
<i>Rhoeo spathacea</i> Stearn	ムラサキオモト
<i>Zebrina pendula</i> Schnizl.	ハカタガラグサ
Liliaceae ユリ科	
<i>Allium fistulosum</i> L. var. <i>caespitosum</i> Mak. 〔シビラ*〕	ワケギ
<i>Allium sativum</i> L. 〔ピン***〕	ニンニク
<i>Allium tuberosum</i> Rottler 〔ビラ*〕	ニラ
<i>Aloe arborescens</i> Mill.	キダチロカイ
<i>Aloe vera</i> var. <i>chinensis</i> Berger	トウロカイ
<i>Cordyline australis</i> Hook. f.	ニオイシュロラン
<i>Dracaena marginata</i> Lamk.	ツルギバセンネンボク
<i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>sempervirens</i> M. Hotta	ベニカンゾウ

新里：竹富島の植物相

[ハンソー]		
<i>Lilium longiflorum</i> Thunb.		テッポウユリ
[ユイ*]		
<i>Nolina recurvata</i> Hemsl.		トックリラン
<i>Ophiopogon japonicus</i> Ker		ジャノヒゲ
<i>Sansevieria nilotica</i> Bak.		チトセラン
<i>Smilax sebeana</i> Miq.		ハマサルトリイバラ
[タンキラー]		
	Amaryllidaceae	ヒガンバナ科
<i>Agave americana</i> L.		アオノリュウゼツラン
[ヤマン***, ヤマウン*]		
<i>Crinum asiaticum</i> L.		ハマオモト
[タビッキヤ, タビッキヤ***]		
<i>Hippeastrum x hybridum</i> Hort.		アマリリス
	Dioscoreaceae	ヤマノイモ科
<i>Dioscorea alata</i> L.		ダイジョウ
[ヤマン***, ヤマウン*]		
<i>Dioscorea bulbifera</i> L.		マルバドコロ
[ンガンニャー]		
	Iridaceae	アヤメ科
<i>Gladiolus x gandavensis</i> v. Houtte		グラジオラス
	Musaceae	バショウ科
<i>Heliconia</i> spp.		
<i>Musa balbisiana</i> Colla		リュウキュウバショウ
[バジャ***]		
<i>Musa x sapientum</i> L.		バナナ
[バジャ*, バジャヌナイ**]		
<i>Ravenala madagascariensis</i> J. F. Gmel.		オオギバショウ
	Zingiberaceae	ショウガ科
<i>Alpinia speciosa</i> K. Schum.		ゲットウ
[サミ]		
<i>Hedychium coronarium</i> Koenig		ハナシュクシャ
<i>Zingiber officinale</i> Rosc.		ショウガ
	Cannaceae	ダンドク科
<i>Canna coccinea</i> Mill. var. <i>rubra</i> Aiton		ダンドク (逸出)
<i>Canna x generalis</i> L. H. Bailey		ハナカンナ
	Orchidaceae	ラン科
<i>Nervilia aragoana</i> Gaudich.		ヤエヤマクマガイソウ (新島, 緑地)

引用文献

1. 天野鉄夫 1979 琉球列島植物方言集, p 1~303, 沖縄, 新星図書出版
2. ——— 1981 粟国島植物目録, p 1~39, 粟国村教育委員会
3. 初島住彦, ——— 1977 琉球植物目録, p 1~282, 沖縄, でいご出版社
4. 飯泉 茂編 1975 石垣島およびその周辺諸島の草地生態に関する研究, p 1~65
5. 国土庁土地局 1977 土地分類図 (沖縄県)
6. 新島義龍 1981 竹富町竹富島の主な御願所林の植生, p 195~222, 沖縄県教育委員会
7. 新納義馬, 玉城松栄, 新城和治, 宮城康一 1971 尖閣列島の植物, p 37~140, 尖閣列島学術調査報告書
8. ———, 宮城康一, 新城和治, 島袋 曠 1974 八重山群島の植生, p 5~36, 琉球列島の自然とその保護に関する基礎的研究, I
9. 沼田 真編 1959 植物生態学〔1〕, p 284~287, 東京, 古今書院
10. 沖縄県 1979 植生調査報告書, p 1~129, 環境庁委託第2回自然環境保全基礎調査
11. 緑地研究会 1977 社寺林の研究8 (沖縄県先島), p 125~171 森林・8
12. Shinjo Kazuharu 1977 Flora of Hatoma Island, the Yaeyama Islands, p 29~40, Ecological Studies of Nature Conservation of the Ryukyu Islands-III
13. 新城和治, 宮城康一 1977 久場島の植物相, p 119~131, 沖縄県教育委員会
14. ———, ———, 日越国昭 1977 屋嘉比島の植物相, p 93~104, 沖縄県教育委員会
15. 高嶺英言 1952 八重山群島植物誌, p 1~153, 琉球林業試験場集報, 1
16. 竹富町 1984 竹富町国土利用計画
17. 多和田真淳 1954 八重山群島波照間島の植物, p 61~76, 林業試験場研究報告, 2
18. 上勢頭亨 1976 竹富島誌 (民話・民俗篇), 初版, p 1~339, 法政大学出版局